

ハゼラン科 ハゼラン属

ハゼラン (爆ぜ蘭)

Talinum paniculatum (Jacq.) Gaertn.

自生環境

家のまわり、道ばた など

原産地

熱帯アメリカ

予想される被害

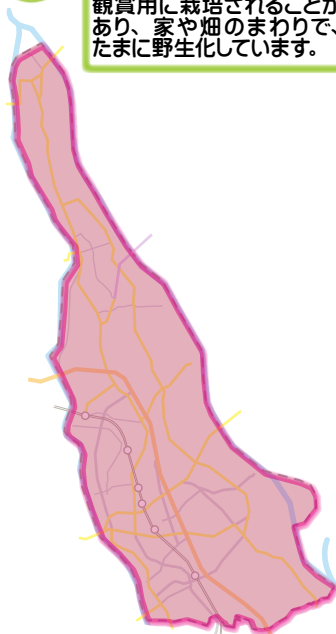
駆逐



観賞用に栽培されていますが、こぼれダネでよく増えるため、周辺に野生化しやすい種類です。栽培するときは、近隣に野生化させないような気配りをしたいところです。

市内の分布状況

観賞用に栽培されることがあり、家や畑のまわりで、たまに野生化しています。



特徴

- ☆ 明治時代に園芸植物として日本にやってきました。熱帯から来た草で1年草ですが、こぼれ落ちたタネから毎年自然と芽生えてくるため、庭に植えばなしでも何年も楽しめます。一方で、タネで増える力が強いので、しばしば家の周りに野生化しているのを見かけます。
- ☆ 草丈は30～80cmほどで、花が咲きはじめるとともに一気に背が高くなります。葉は多肉植物ほどではないもののしっかりと厚みがあり、表面はつやつやしています。熱帯地方ではこの葉を食用にしているところもあります。
- ☆ 夏から秋にかけて、小さな赤紫色の花を多数咲かせます。花は夜咲きです。午後3時～4時に咲きはじめ、翌朝にしぼむことから、サンジソウまたはヨジソウとも呼ばれます。

ランとつくけどランではない

ランの仲間は、美しい花を咲かせるため昔から多くの人を魅了してきました。そのこともあってか、ラン科の植物ではなくとも、美しいものに対して名前にランをつける傾向があります。このハゼランもその一つです。マツバウンランやブランスズランなど、これらはすべてランとつきますが、ラン科ではありません。さらに花の咲かないシダ植物にも、マツバウン (松葉蘭) とランの名がある植物があります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

